



# 目指せ 棟梁。

**新人大工募集!**

JBN大工育成プログラム(3年間)に沿って、  
次代を担う大工職人を育成します。

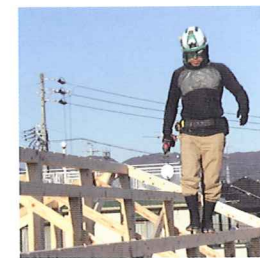
# 日本の職人文化・ものづくり文化が生んだ木造軸組住宅。 その伝統と技を現代の住まいに活かし、 未来へと継承する人財を育てます。

大工の育成は地域工務店の最も大切な仕事であり社会的役割でもあります。なぜなら「大工の力」が工務店の最大の競争力となり、地域住文化の継承につながるからです。

日本の気候風土に適した木造住宅は、これからも住まいづくりの主流です。伝統的な木造軸組住宅の高度な技能・技術を身につけ、耐震・省エネについての最新の知識と技術を持ち、そしてなにより家族が住まう、生活する場をつくるというプロとしての志をもった人材育成が今求められているのです。

日本の住文化を担う木造建築の基幹技能者は、  
昔も今もこれからも「大工」です。

現在、日本の木造住宅の多くは在来軸組工法で建てられています。これからの住宅は新築と同時に改修維持の需要も大きくなってきます。様々な工法で建てられた住宅の耐震・省エネ改修に適応できるのは、在来軸組工法を習得した大工だけです。また今後、低炭素社会づくりに欠かせない多様な木材の新素材、新工法に対応できるのも大工なのです。大工の育成は工務店の仕事であり、それは建設産業にとって、また日本文化にとっても極めて大切な社会的事業であります。



大工という仕事は社会資産として、これからの時代にもなくてはならない職業です。

## JBN大工育成ガイドライン

キャリアパス (目指すべき大工への道筋モデル)	入職	見習大工 育成期間 3年間	一般大工 キャリア 蓄積	棟梁大工	定年 60歳	意向確認・ 70歳まで 再雇用 技能継承	生涯現役
社員大工を育て 顧客ニーズに対応する 「職人文化」を継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>雇用契約(育成プログラムの提示)、社会保険適用</li> <li>就業規則、有給休暇制度、給与規定、退職金制度等の整備</li> <li>大工道具の貸与</li> </ul>						
一生勉強、 生涯現役を目指す 教育プログラムの策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>見習い育成期間(3年間)／テーマ「修業は若いうちに！鉄は熱いうちに！」 教育プログラムによる日々のOJT(職場訓練)と座学・集合研修を組み合わせる</li> <li>キャリア蓄積期間／テーマ「経験こそが力だ！」 現場経験を積み、技能・技術を磨く、キャリアアップの道筋を示す等 目指すべき資格取得(1・2級技能士、1・2級建築士、木造建築士、1・2級建築施工管理技術者、基幹技術者、インスペクター等)</li> <li>技能継承期間／テーマ「手の記憶を伝える！」 熟練者として技能、スキルに見える化、OJTのサポート</li> </ul>						
大工育成における 行政機関との連携・協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地域のポリテクセンター、職業能力開発大学校等、公共機関との連携</li> <li>講師派遣、施設の活用、カリキュラム作成をはじめ、大工および工務店の社会的地位向上のための広報宣伝等、支援制度の利活用</li> </ul>						

大工への道

Q&A

### Q:大工修業は何から始めますか？

まずは作業場の掃除や片付けに始まり、棟梁や先輩の下について手元として補助作業をしながら少しずつ仕事を覚えていきます。最初からノミやノコギリを使った刻みはできません。例えば角ノミ機で加工したホゾ穴の中をのみできれいにするとところから始めます。いくつもやっていくうちにノミの使い方や木の特徴が理解できるようになり、次第に手刻みなど仕事の幅も広がっていきます。また同時に電動工具を安全に使うことも学んでいきます。

### Q:道具はマイ道具が必要ですか？

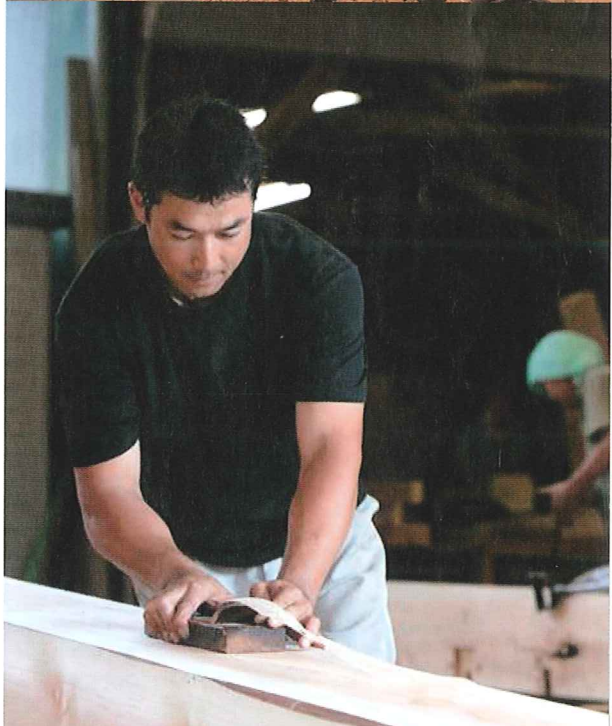
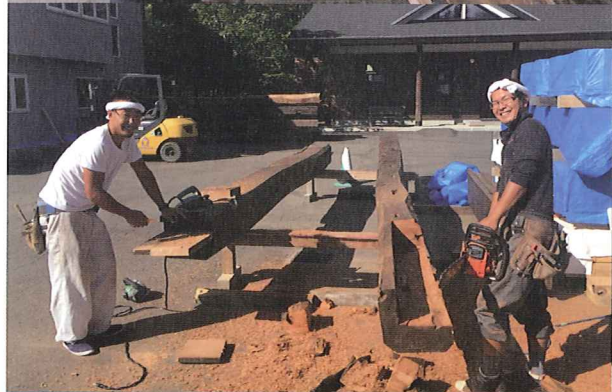
かなやノミ・ノコギリなどの手道具は、いわば手の延長ですから自分専用のものが重要です。道具をいつもベストな状態に保つことも、いい仕事をするための大切な条件です。新人は先輩からかなやノミなど、刃物の研ぎ方も教わります。

### Q:一人前になるまではどのくらいの期間がかかりますか？

どのような家を建てるかにもよりますが、現在多く建てられているプレカット材による住宅を建てられるようになるには最短でも5～6年はかかるでしょう。更に適材適所、木材を見きわめて、墨付けして手刻みができるようになるまでには8～10年はかかります。石の上にも三年の例え通り、大工の仕事のおもしろさも分かってくるには少し時間がかかります。一人前に棟梁を張るようになるまでは、やはり7～8年、自分に自信が持てるまでには10年は必要です。

### Q:昔と今で大工の仕事に違いはありますか？

基本的にやることは同じですが、家の造りにより機械化される部分・作業も増えてきました。しかし、木と木の継ぎ手や仕口などの微妙な具合の見極めは、家を長持ちさせる観点からも大工の熟練した目利き・技術は欠かせません。機械化されたとしても家づくりの基本が身に着いているかどうかが大変重要な条件となります。それによってゼロエネルギー住宅などに必要な、断熱・気密などの省エネ技術習得にもつながってきます。



大工職人の高齢化と入職者不足による急激な減少に対する危機感のもと、  
今後地域工務店が競争力を発揮し社会的地位を向上させるため、  
自らの「大工」育成が必要不可欠となっています。  
JBNでは会員各工務店が各社ごとに、  
または団体で入職から3年間の大工育成をサポートし、  
4年目以降の大工職人としての人生設計「キャリア」の指針を示していきます。



—— 一般社団法人JBN・全国工務店協会プロフィール ——

中小工務店による全国組織で建築技術、人材、品質、事務、各種情報等の側面から会員工務店をサポートし、住宅産業の持続的かつ健全な発展をはかり、地域の良好な住環境と木造建築の整備に貢献することを目的にした組織です。

「地域に必要とされる工務店」を目指し人材育成事業や実務支援のため研究・開発の成果を会員に還元するなど、工務店支援の充実に取り組む工務店業界の発展と継続の為の団体です。

**一般社団法人 JBN・全国工務店協会**

〒104-0032東京都中央区八丁堀3-4-10 京橋北見ビル東館 6階

**TEL.03-5540-6678** FAX.03-5540-6679

<http://www.jbn-support.jp/>

—— 会員事業所 ——

秋田県鹿角市十和田毛馬内字上陣場67-5

**有限会社 金澤工務店**

TEL 0186-35-2384 FAX 0186-35-2379

[kanazawa@triton.ocn.ne.jp](mailto:kanazawa@triton.ocn.ne.jp)